

平成 23 年 (2011 年) 3 月 19 日 茨城県北部の地震 (M6.1) に関する 合成開口レーダー解析結果

平成 23 年 (2011 年) 3 月 19 日 18 時 56 分、茨城県北部で発生した地震 (M6.1) に関する、「だいち」PALSAR データの解析結果を示す。

■ 地殻変動の特徴

- 1) 地殻変動は北茨城市から西十数 km の領域に集中しており、最大約 40cm の衛星-地表間の距離伸張が観測された。
- 2) 最大の地殻変動が観測される領域では、変位の不連続が認められる。
- 3) 干渉画像をもとに矩形断層一様すべりの震源断層モデル (2 枚のセグメントを仮定) を構築した。主な特徴として、①南西傾斜の断層面 (傾斜角 $60\sim 70^\circ$)、②北北西 (北西) - 南南東 (南東) 方向の走向、③正断層型の断層運動、④最大変位域の直下のごく浅部に局所的な滑り、等が挙げられる。

